

# 地域とともにある 学校づくり

～コミュニティ・スクールが始動～

問 (市)小中一貫教育推進室

近年、グローバル化や少子化の進行をはじめ、スマート社会を見据えた生活スタイルの変化の到来など、社会構造が大きく変化しています。

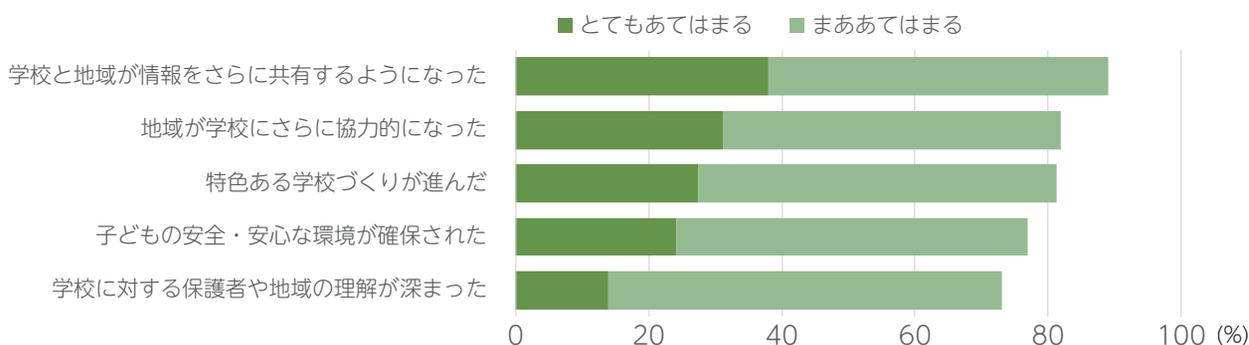
予測が困難な社会を自分らしく生き抜くためには、子どもたちの「未来を拓く力」を育む学びの環境を整える必要があります。

市では、9年間を通じて、「主体性」「協働性」「創造力」を身につけた児童生徒の育成をめざして、小中一貫教育を推進するとともに、地域・保護者・学校が連携し、社会総掛かりで未来の社会の創り手となる子どもたちの学びと育ちを支えていくため、「コミュニティ・スクール」を導入します。

令和5年度は、統合を経て複数の地域で学校を支える新たな体制づくりが必要である、吉川小学校・吉川中学校と緑が丘中学校に学校運営協議会を設置し、「コミュニティ・スクール」がスタートしました。

さまざまな人との協働的な学びや体験的な学習を充実させ、「人となりがる力」や「自己肯定感」などを高めながら、未来を担う大人への成長につなげます。

## 全国のコミュニティ・スクール導入校における成果認識(上位5件を抜粋)



出典：文部科学省「コミュニティ・スクールの在り方等に関する検討会議(第7回)」(令和3年11月22日)

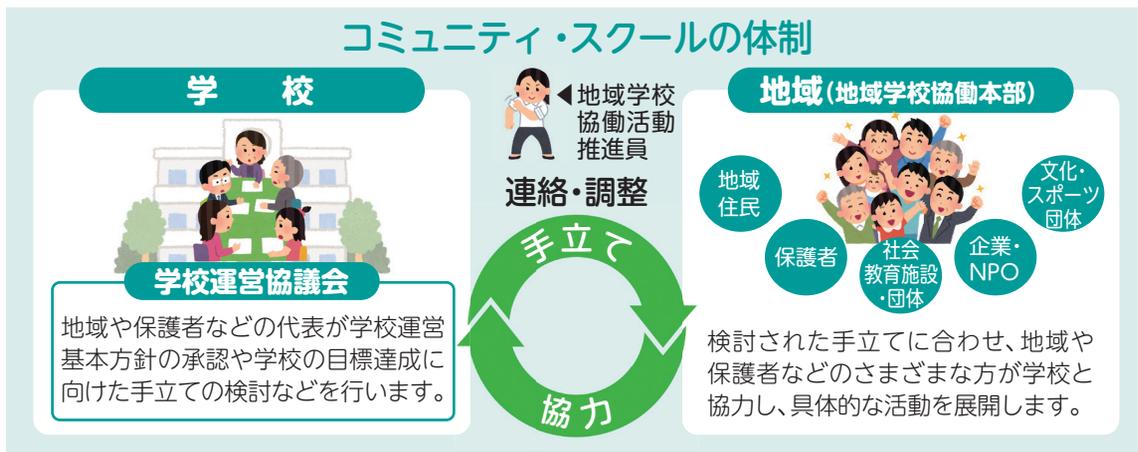
# 「コミュニティ・スクールって何？」

コミュニティ・スクールとは、学校内に地域・保護者などの代表者と校長（教職員）からなる「学校運営協議会」を設置している学校のことであり、「地域とともにある学校づくり」をめざしています。

この協議会において、「子どもにどんな力をつけさせたいのか」「地域でどのような子どもを育てたいのか」などの目標やビジョンを共有し、その達成に向けた手立てを検討していきます。

検討された手立てに合わせて、地域や保護者の方々と学校が協力し、具体的な活動を展開していきます。

子どもたちの学びや体験活動が充実するだけでなく、子どもと共に活動する機会が増え、地域の方々にやりがいが生まれたり、教職員の「子どもと向き合う時間」が充実したりするなど、さまざまな効果が期待されています。



## 今までとどう違うの？

これまでは、学校が中心となつて、めざす子ども像の実現に向けた手立てを考え、地域・保護者から支援を受けながら教育を進めていました。

コミュニティ・スクールでは、学校運営協議会の委員と学校が、課題や子どもを育てていく思いを共有し、学校と一緒に手立てを考え、その解決をめざしたり、活動を充実させたりしていきます。

また、委員が学校運営に参画することで、学校が「何をめざしているのか」「子どもたちをどう育てていくのか」を共有することができ、学校への理解を深め、学校の応援団となつていただくことができます。

学校にとつても理解者・協力者が増え、より多くの力で子どもたちを支えられることから、教育の幅を広げ、質を高めることにつながります。

## コミュニティ・スクール導入卒業生の声

片山 留奈さん（山口県光市）

私は学校の教育活動の中で第三者である地域の方々と関わり、その姿を見て、自分自身の意識や行動が変わりました。主に変化した点は3つあります。

まず、登下校時の安心感です。地域の方々の存在が頼もしく、助けが必要な時に近くにいるという安心感を持っていました。次に、学校活動を通じての視野と考え方の広がりです。高齢者の方のお話を聞いたり、地域の養鶏場での新たな

発見などを通して知識や視野が広がりました。最後に、地域の方々との会話から生まれる自己肯定感です。地域の方々からの成長を喜んでくれる言葉や応援によって自信が深まりました。

これらの変化を通じて、私の地域を大切に思う気持ちはより強くなりました。今後も地域とのつながりを大切にしながら、地元の発展にも貢献していきたいです。

出典：「未来の学校づくり」/学事出版 P64-66から引用

今年度スタートした2つのコミュニティ・スクール  
学校運営協議会の委員の声を紹介します！

未来を担う子どもたちのために

吉川小・中学校(小中合同型)

【主な意見】

- ・「人にしてもらおうのを待つ」から「自分から動こうとする力」を育てていきたい。
- ・オープンスクールの時、児童がとても意欲的に学習する姿が見られ、この姿を大切にしていきたいと思った。
- ・夢や希望を持ってほしい。それが児童生徒の積極性につながるのではないか。
- ・私たち大人が変わらないと子どもも変わらない。



学校とともに手を携えながら、吉川の子どもたちの成長に貢献したいです。

地域の様々な人や環境と関わる中で、自己肯定感を育み、自分の良さ、ふるさとの良さを実感できるような取組を模索していきます。



吉川小・中学校  
学校運営協議会  
会長 杉原千二三さん

緑が丘中学校

ボランティアや地域活動などを通じて、達成感を味わってもらえる機会づくりができればと思います。

ひと汗かきながら、世代を超えた共感やチームワークが生まれる活動ができればと思います。



緑が丘中学校  
学校運営協議会  
会長 三宅仁見さん

【主な意見】

- ・目標を持ち、その実現に向けて何が必要かを考えられる大人になってほしい。
- ・学校訪問の時に見た生徒が堂々と発表する姿は、まさに主体性があるように思えた。この姿勢が広まっていけば良いと思う。
- ・地域の大人の背中を見て、子どもは育つ。私たちも真剣に考える必要があるだろう。
- ・「できることは何なのか」から始めていけば良いのではないか。



吉川小学校・吉川中学校、緑が丘中学校での第1回学校運営協議会では、学校運営の基本方針についての説明・承認をはじめ、校区内の児童生徒の様子やめざすべき姿について意見交換を行い、各委員から活発な意見が寄せられました。

今後、さらに協議を深め、具体的な活動を検討していきます。



コミュニティ・スクールについての詳細情報はこちら